

前代未聞の体育祭！新競技続出！

曾屋高新聞

発行
2021年3月1日
秦野曾屋高校
新聞委員会
秦野市曾屋 3613-1
Tel 0463 (82) 4000

令和二年九月四日(金)に第二十七回体育祭が開催されました。今年度は競技のみの実施となりましたが、七色各団の団結力や声援などで盛り上がりました。

やればできる子

緑団

勝利を手に

体育祭を楽しむことはできませんでしたか。今年度は新型コロナウイルスの影響により、各色の団の個性を出しにくい小規模な形で行われました。その上、練習が圧倒的に足りず、本番に全てを出し切れなかったなどとても悔やまれることも多々あったことでしょう。

しかし、そのような状況の中、緑団は見事優勝を勝ち取ったのです。(例年通りの部門別の結果は含みません。)

それにしても一発勝負と言っても過言ではないのにも関わらず優勝を手にしたこと

体育祭結果

- 1位 **緑**
- 2位 **黄**
- 3位 **橙**

に、喜びより驚きが隠せませぬ。一年生と二年生は例年より盛り上げに欠けていても一生懸命に活躍しました。

高校最後の体育祭が今までよりどんなに控えめであつても後輩を率い、全力で楽しみ、楽しませようとした三年生には感謝の言葉しかありません。

アトラクなしで
楽しめた
黄団

黄団は一年六組、二年六組、三年六組でした。天気予報では、あまり天気がよくなかったですが、当日は快晴だったので本当に良かったです。玉入れは、桃団よりも黄団の方が多く入っていたので一位かなと思つたのですが、負けたので悔しかったです。私は玉入れに参加しなかったのですが色々な団をよく見ることができました。リレ

ーでは、黄団が途中で追い抜かされていたのでビリになるのかと思つていたら、一気に追いついて、すごいと思つたことが思い出に残っています。アトラクが無かったのは悲しかったのですが、来年アトラクが

あれば最後のアトラクを全力で頑張ろうと思つています！またコロナウイルスの感染がなくなつたら、もっといろいろな事ができ、よりよい体育祭になると思つています。来年も全力で頑張つて楽しみましよう。

先輩たちに感謝
紫団

紫団は、一年三組、二年三組と三年三組で構成されました。当日はとても天気が良く、絶好の体育祭日和でした。日焼けをして肌が真っ赤になつている人がたくさんいました。

今年度はコロナウイルスの影響で、アトラクや団Tシャツのデザインなどが出来なくて例年よりも体育祭の規模が縮小されていて、それぞれの団の結束力を高める時間はありませんでしたが、当日は三年生が団をまとめて引っぱつてくれていて、みんな楽しんでいました。

今年度は新しく、競技に玉入れが加わり、先生も競技に加わつていたので、見ていた人たちは楽しかったと思つています。来年からは、今まで通りの体育祭ができるようになっていて欲しいです。

絆が深まった

青団

コロナ禍での初の行事。そもそも行うことができるか、あまり関わっていないクラスメイトで大丈夫かという不安が全員にあった。選抜リレーは誰がやるのかという論争もあつたがこの際、勝敗は考えないという事で決まつたりもした。あまり積極的ではない雰囲気でも始まつた体育祭だった。ペアダンスもなくかなり例年よりも少ない競技数で臨んだことが一つの理由だと感じる。

競技が始まると、さまざまな方位から声援が送られていたので、やると決まつたら全力で

一致団結
オレンジ団

オレンジ団は三年四組、二年四組、一年四組で構成された団です。今年度はコロナの影響で練習がなかったり、競技数が減つてしまつたり、新しい競技が増えたりなど色々変わつてしまつたけれど、一人一人自分達が出場する競技種目では、各学年の素晴らしい活躍が見られました。結果では、オレンジ団は総合三位を獲得することができました。三位を獲得できたのは、一年生、二年生、三年生全員が一致団結し、協力し合つていたからだと思います。今年

文化祭など、様々な行事がなくなつてしまつた中、高校生最後の三年生が体育祭をできて本当によかつたと思つています。来年は二年生が団を引っ張つていく番なので、しっかりと団をまとめていきたいです。オレンジ団が一丸となつて全力で取り組んだり、他学年とたくさん関わることで、今年最高の思い出を作ることができました。

取り組むのだとわかり、感動した。学校からの飲み物の支援もあり、少ないながらも充実した体育祭だと思つた。

青団は結果的には七位という順位となった。残念な結果ではあるがそれよりも、少し壁のあつたクラスが団結したことにより、絆を深めた。クラスの雰囲気も良くなつたこと、大きな変化で、堅苦しくなつたことが笑い話になつた。体育祭には感謝している。



↓新競技たま入れの様子

燃え尽きたぜ……

赤団

今年度の体育祭は、新型コロナウイルスの影響で競技数が減り、アトラクは無くなり練習も無くなつてしまいました。本当ならば他学年と交流し、クラスメイトたちとも仲良くなれたはずですが。練習は無く、他学年との交流無く終つてしまつたのかなと思つていました。そんな中体育祭当日の朝、赤団の団長が「今日一日頑張りましょう」と言いに来てくれました。あたり前のことなのかもしれませんが、何も無いと思つていて朝、団長がクラスに来てくれたことがとても嬉しく感じた人はきつと多いと思つています。

他学年交流
桃モモダン団

今年の体育祭は、新型コロナウイルスの影響で昨年とは違つた体育祭になりました。桃団は一年七組、二年七組、三年七組の三クラスで結団しました。

昨年は全校生徒が集まり、くじを引いて団の色を決めていました。しかし、今年度は新型コロナウイルスで全校生徒が集まることができず、委員会で集まつて決まりました。今年度は昨年よりも競技の数が減り、競技やアトラクの練習が無くなつたので、他学年との交流の場がなくなつてし



↓オレンジ団整列

赤団が最も盛り上がったのは、ファイナルリレーです。ラストの競技で一位を取れたとき、選手はもちろん、応援していた人たちも全員が歓声を上げ喜んでいました。ほとんど練習が無く、交流が無かつたにしても勝利というのは嬉しいものです。最後の最後で勝利を勝ち取り、全員で喜んだあの瞬間が一番輝いていてと思います。



→ソーシャルディスタンスを保つて整列する様子

まいました。しかし、交流がなかつたと思わないうらい団長を中心として一致団結できたと思つています。競技中にも、学年の壁を越えて応援して、とても良い雰囲気でした。今年度の体育祭は九月の暑い時期でしたが、暑さに負けないうらい元気に行えました。そして、上位には入れなかつたけど、団の皆が一致団結して楽しくできました。

